

## 大会テーマ「医療・福祉政策研究の魅力に迫る」

日時：2018年12月1日（土） 午前・午後  
会場：立教大学新座キャンパス  
（埼玉県新座市北野 1-2-26）

### 教育講演

#### 「私の医療経済・政策学の軌跡～著書『医療経済・政策学の探究』をもとに～」

二木立（日本福祉大学相談役・名誉教授）

長年、医療経済学・政策学研究を積み重ねてこられた二木立氏が、これまでの研究論文を収録した大著（『医療経済・政策学の探究』勁草書房、2018年）を公刊されました。

教育講演として二木氏をお迎えし、同書に記されているこれまでの研究を振り返って頂きながら、実証研究の意義をはじめ、医療経済・政策学の探究についてお話し頂く予定です。

二木氏の研究を語るにはあまりにも短い時間かもしれませんが、多くの参加者とともに有意義な時間としたいと考えています。

### シンポジウム「社会的な居場所づくりと福祉政策(仮)」

社会的な居場所づくりをめぐる問題は学術的にも実践的にも注目されています。福祉政策として、社会的な居場所づくりは、高齢者の社会的孤立・介護予防、生活保護受給者・生活困窮者の社会的自立の実現、子どもの貧困対策における子ども食堂の実践などに該当すると考えられます。本企画は、社会的な居場所づくりの背景と理論枠組みを確認し、招聘した各種の実践家が行っています。

事例報告を通じて、多様な社会的な居場所づくりの異同と課題を検討する予定です。

\* 報告者についてはただいま折衝中です。

### 一般演題の募集について

研究大会では、自由演題を募集しています。自由演題の発表は、会員の方であればどなたでも可能です。院生の方からのご報告も歓迎いたします。応募される方は、(1)氏名・ふりがな、(2)所属、(3)演題名、(4)要旨(190字以上 210字以下)、(5)パワーポイント使用の有無について、2018年9月27日(水)17:00(必着)(注:締め切り延長となりました)までに担当役員:早川佐知子(広島国際大学)の以下の電子メールアドレス宛でご連絡ください。

**E-mail: s-hayaka<@>hw.hirokoku-u.ac.jp** (<@>を@に置き換えてください)

受付受理後、こちらから返信いたします。応募後、3日経過して返信がない場合は、大変お手数ですが、再度ご連絡をお願いいたします。演題の採否は、10月上旬にお知らせいたします。

発表時間(質疑応答を含む)は30分間を予定していますが、演題の応募状況によっては短縮されることもあります。詳細は、採択の連絡に合わせてお知らせします。

なお、一般演題の応募が多数の場合、分科会として実施する場合がございます。

\* 日程の詳細、参加申し込みなどについては、第2報でお知らせします。一般演題募集期間の延長など、ウェブとメールのみでお知らせする場合がありますので、適宜点検いただきますようお願いします。